

11/27 五  
-

# 「サイルいらない わざわざない

## 大分 陸自弾薬庫に反対

国が敵基地を攻撃する最短程ミサイルを保有する大型弾薬庫新設を狙う大分市の陸上自衛隊大分分屯地前で26

日、市民らが弾薬庫の建設反対、工事中止を訴える集会を開きました。約60人が分屯地ゲート前に集結し、「大分工事を始める計画で

南西諸島をはじめ、この九月、大分のどもにも戦争の火種をつくりさせてはならない」と呼ひかけました。

リレーモークでは、「軍拠ではなく暮らし」に予算を「政治を変えてよう」などの声が上

弾薬庫建設反対  
市長に「26日、大  
分市・陸自大分分  
屯地ゲート前

がり、地元住民たちも

イクを握りました。敷

西北町の宮成昭裕さん(73)は「九州防衛局は

住民説明会の際、も

しもの時、「JUJが標的

にされるのではないか」と「みんなミサイル

を保管するのか」と

私たちの不安や疑問に

一切答えなかった」と訴え。高江北自治会役員の佐保謙一さん(77)

は「みんなが不安に思っている。あきらめず

に声を上げ続けたい」と力を込めました。

日本共産党の堤栄三議員と社民党原運代表らが連帯あいさつ、参 加者を激励しました。

